

ICTで授業が変わる！

～ iPadという文房具の可能性を求めて～

岡山県新見市教育委員会

教育長 中 田 省 吾

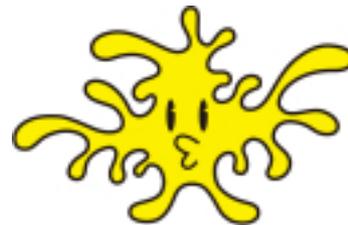
1. 新見市の紹介



新見市シンボルキャラクター



チーモくん



マンサクくん



ピオリン

<概要>



- ・ 岡山県の西北端に位置
- ・ 平成17年3月31日、近隣5市町(新見市、大佐町、神郷町、哲多町、哲西町)の合併により、新「新見市」として誕生
- ・ 面積793.27 k m² 人口33,870人 (H22国勢調査結果)



A級の誇り



極上の新見の幸を召し上がれ

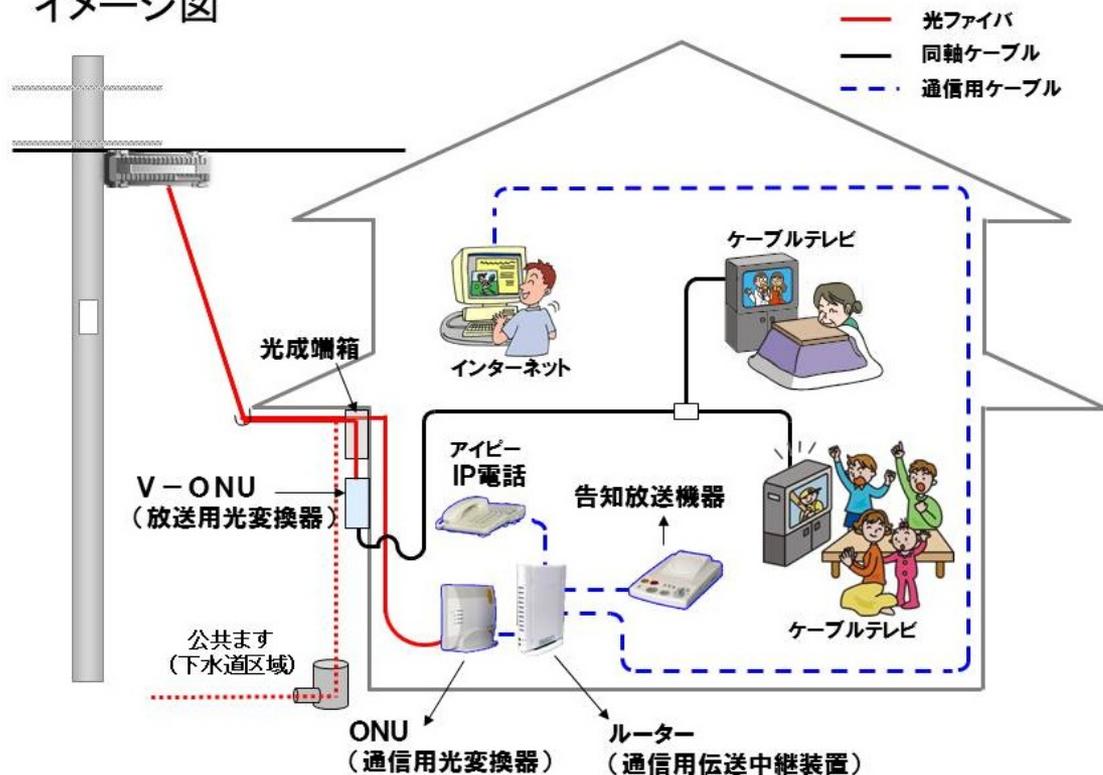


<ラストワンマイル事業>

市全域に光ファイバを敷設する「ラストワンマイル事業」を実施し、市内全世帯及び主要公共施設でインターネットが利用できる環境を整備。

この光ファイバ網（ラストワンマイル網）を利活用し、市民や来訪者等施設利用者の利便性向上と家庭外でのインターネット利用環境の充実を図るため、これまで市内の45箇所の公共施設に無線LAN(Wi-Fi)スポットを設置。

イメージ図



2. ICT利活用教育推進の背景



3. タブレットPCによるICT利活用教育事業



高尾小学校

哲西中学校



<ICT絆プロジェクト>

平成22年度の「地域雇用創造ICT絆プロジェクト（教育情報化事業）」に参画。

- ・ 高尾小学校1校
- ・ 全児童75名にタブレットPC（iPad）を配布
- ・ 普通教室にIWBを6台等導入



<フューチャースクール推進事業・学びのイノベーション事業>

平成23年度の総務省「フューチャースクール推進事業」及び文部科学省「学びのイノベーション事業」に参画。

- ・ 哲西中学校1校
- ・ 全生徒64名にタブレットPC (iPad2) を配布
- ・ 普通教室及び特別教室にIWBを11台等導入



＜公開授業及び視察＞

本市の取り組みが礎となり、全国レベルでのICT利活用教育が強力に推進されることを望んでいる。

そのため、公開授業の実施や視察などの受け入れを積極的に行っている。

項目	件数
視 察	51 件
公開授業	34 件
講 演 等	28 件
誌上発表	15 件



4. iPadという文房具 ～哲西中における活用より～



(1) ICT機器を利用した授業の始まり

①使って慣れることを選択

○登校してから帰るまで自分でタブレットPCを管理すること

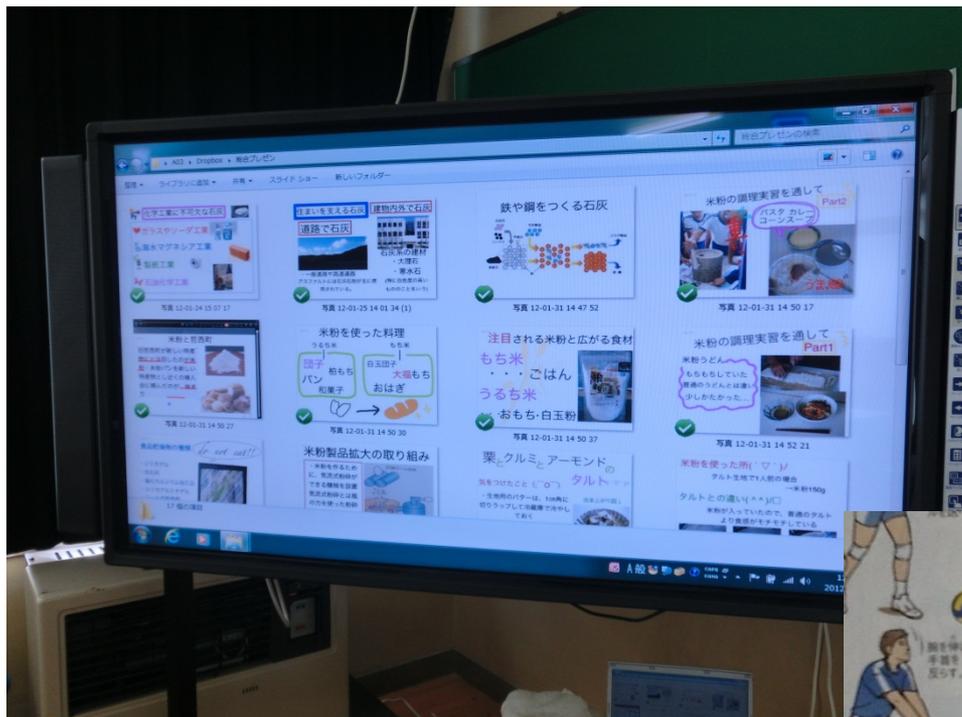
○すべての授業でタブレットPCやIWBを使うこと

②無料アプリの利用

③タブレットPCの持ち帰り



(2) 授業でのタブレットPCの利活用



(3) 教科以外の教育活動でのタブレットPCの利活用

特別活動・総合的な学習の時間・非常変災を想定した避難訓練など



(4) 学力とICT

- ①基礎的・基本的な知識・技能を習得すること
- ②課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成すること
- ③主体的に学習に取り組む態度を育成すること



職員・授業の変化

- ①時間配分の変化
- ②多くの生徒の意見・考えの紹介
- ③互いの考えを聞く、参考にすることができる
- ④職員の意識の変化



生徒の変化

- ①主体的に授業へ取り組むようになる
- ②表現する力がついてきている
- ③思考や応用する力がついてきている
- ④望ましい学級集団が育っている

5. 平成26年度における全中学校での取り組み

～新見市ICT活用教育推進事業～



新見市教育研究会



iPad貸与式





6. 今後の課題



～世界で通用する「新しい能力」の育成～

7. 最後に・・・



○グローバルな人材育成の展開

- ・ A L T を積極的に活用した英語教育などの教育環境の充実
- ・ 日本におけるICT活用教育の先駆け

○本市活性化のために

- ・ 「ぜひ新見の教育を受けたいので I ターンで新見市へ住もう」
- ・ 「故郷のために頑張ろう」



ご静聴ありがとうございました。



岡山県新見市教育委員会

教育長 中 田 省 吾

